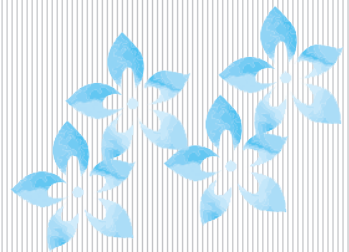




百寿



あつま



社協だより



2021年

発行者

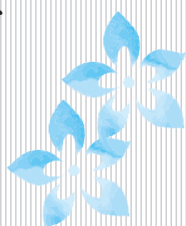
社会福祉法人

厚真町社会福祉協議会

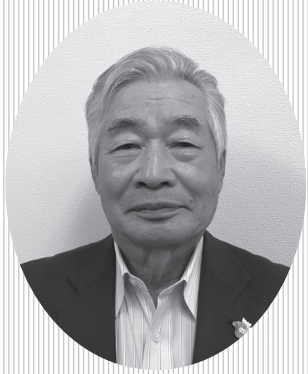
〒059-1601

勇払郡厚真町京町158番地

Tel (0145) 26-7501 Fax (0145) 26-7655



この広報誌は、赤い羽根共同募金の配分を受けて発行しています。



会長就任のご挨拶

社会福祉法人
厚真町社会福祉協議会
会長 大橋 正 治

任期満了による 新理事選出を決定

去る6月28日に役員改選後、初の社会福祉協議会理事会が開催されました。

定款の定めで理事の互選により大橋正治理事が会長として再任されました。今後は新たな役員体制で、本町の福祉向上のために取り組んでまいりますので、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

清々しい初夏を迎え、木々の緑も日増しに深くなってまいりました。町民の皆様には益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。平素より社会福祉協議会に対しご支援、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、この度の役員改選に伴い、会長をお任せ

つかりました。責任の大きさを痛感するとともに、微力ながら誠心誠意取り組みでいく所存でございます。

昨年一月から国内で感染が広まり始めた新型コロナウイルスによって、本会においても地域住民に寄り添った支援活動の一つとして各種集いの場づくりなどを予定しておりましたが、緊急事態宣言などによる行動制限により十分な取り組みができなく、福祉活動そのものも多くが休止となりました。

今後は、新型コロナウイルスの接種状況を見ながら、地域福祉・在宅福祉の活動のほか、介護事業所も運営しておりますので、感染拡大防止に留意しつつ、安心・安全な事業運営を推進してまいります。

また、北海道胆振東部

地震から二年十カ月が経過し、本町においては目に見えて復旧・復興が進められています。一方、被災者の中には仮設住宅から災害公営住宅などへ移り住んだ方もおりますが、未だに心身の疲弊は計り知れないものがあります。本会ではこうした方々や被災により経済基盤や生活基盤が弱くなり、自立した日常生活を送ることが困難となった方々へ生活支援相談員を配置いたします。

し、引き続き支援を行ってまいります。社会福祉協議会では、「皆で支え合い、誰もが安心して暮らせる、優しさと思いやりに満ちた福祉のまちづくり」を目標に、引き続き町民の皆様と共に福祉の更なる発展に役職員一丸となつて努めてまいりますので、皆様の温かいご指導とご協力を賜りますよう心からお願いし就任のご挨拶といたします。

■理事・監事（順不同）			
任期：令和3年6月～令和5年6月			
役職名	氏名	区分	
会長	大橋 正 治	国	保護司会
副会長	加勢 敏 和	国	遺族会
〃	加藤 恵 子	国	民生委員
理事	中谷 幸 保	国	有識者
〃	橋場 直 人	国	福祉施設
〃	池田 シゲ子	国	婦人団体協議会
〃	佐藤 功 圃	圃	老人クラブ連合会
〃	中川 登 圃	圃	身障者協会支部
〃	北島 美 保	圃	こぶし会
〃	箱崎 倫 子	圃	ボランティア団体
〃	佐藤 秋 夫	圃	有識者
〃	伊東 悦 子	圃	有識者
〃	高橋 康 夫	圃	有識者
監事	山田 忠 男	圃	有識者
〃	前田 正 行	圃	有識者

理事13人 監事2人



☆第5期地域福祉実践計画の策定について☆

☆現場の声と計画づくり☆

○職員アンケートを実施しました

社会福祉協議会には、地域の福祉活動に携わる職員や、相談支援を担う職員、介護や様々なサービスを提供する専門職員など様々な職員が配置されています。

第1期計画が策定された昭和60年当時は4人程だった職員数は、専門的職員の配置や介護保険サービスなどの福祉サービスの実施などに伴い、現在では50人を超えるまでに拡大するとともに、それぞれの業務の専門化が進んでいます。

地域福祉実践計画の策定の基礎資料として、社会福祉協議会の全職員を対象にアンケートを実施したところ、「住民の皆様理解のために情報発信、ホームページの充実」「住民活動の支援強化」などの具体的な取り組みのほか、「部署や職員の連携」や「職員の資質向上のための研修」といった組織づくりの充実に対する考えなど、現場職員の視点から率直な意見が寄せられました。

アンケートの「計画を意識して業務を行っているか」という問いには、常に意識しながら業務を行っているとは限らないという回答もありました。策定自体が目的の計画に終わらせないことが大切だということもありません。



～「ともいきの里」でワクチン接種～

5月14日と6月4日にグループホーム「やわらぎ」と生活支援ハウス「ともいき荘」で、入居者や職員に対する新型コロナワクチンの巡回接種が実施されました。



高齢者は重症化のリスクが高いと懸念されており、共同生活施設では爆発的な感染拡大であるクラスターを発生させないよう警戒が続いています。施設ではご家族などの面会や地域との交流の制限が続いていますが、安心して生活できる日が早く戻ることが待ち望まれています。

社協とは？

社会福祉協議会の事業

VOL.1

？



社会福祉協議会がおこなっている事業を紹介します。
今号では**厚真町地域包括支援センター**について
紹介します。

何をしてくれるの？



地域の高齢者やそのご家族様の総合的な相談窓口となっております。医療や福祉など地域内の社会資源を活用し、高齢者に適切なサービスを案内しています。生活上の困りごとに対して、社会福祉士・看護師・ケアマネージャーが連携して安心した在宅生活を送れるよう支援します。

例えば？

- * 介護予防・生活支援サービス事業・予防給付のサービス利用への支援。
- * ケアマネージャーに対する支援・地域のネットワークづくり。
- * 高齢者の方の権利を守るための支援。
- * 高齢者の様々な相談に多面的な支援。

Staff



写真左上から

- 太田 乗盟 (社会福祉士)
- 大山 政子 (ケアマネージャー)
- 池田 真奈美 (看護師)
- 中林 直美 (ケアマネージャー)

厚真町地域包括
支援センター
☎0145-29-7407



歩くのに時間がかかり、青信号の間に渡りきれない

こんな時には
お気軽に
ご連絡ください



足腰が弱り、日常生活に支障が出始めそうなとき



詐欺・消費者被害の高齢者を見つけたとき



虐待されているような高齢者を見つけたとき



認知症のような症状で日常生活に支障があるとき



介護の仕方がわからない、どこに相談してよいかわからない



福祉と人

このコーナーは福祉施設の職員さん、各種ボランティアさんと社協お訪ね人が対談！その活動内容等を紹介しています。

お訪ね人：福祉担当 吉田

あつま手話の会 「てのひら」 会長 土居 琴恵さん

《出身地》安平町早来
《居住歴》15年前から在住
《職業》現在は農園を営む一方で、
手話の会会長として活躍



手話を始めたきっかけ

独身時代に銀行で勤務をしていた時に失聴と思われるお客様が来店され、その方にせめて『あいさつ』を、手話を使って伝えられたらと感じていた矢先に厚真町で手話の会という団体があることを知り、入会しました。

手話の会「てのひら」に入会して

入会当時は耳の聞こえる方同士で学び合っていたのですが、いざ、ろうあ者の方と接した時にその方の手話を読み取れない自分がいて悔しい思いをしました。それから『手話』はろうあ者の『言語』と言う事を理解し、もつと話をしたいと思うようになりました。縁があつて苫小牧の手話の会の、ろうあ者の方が厚真に来られた時に、たくさん話をして学び、後に会話が出来る時はとても嬉しかったです。

ろうあ者と接するようになり

ろうあ者の方も伝える側のスキルと言いますが、初心者には優しいみたいだな、その辺を読み取りながら相手への接し方を変えているようで、私たちが寄り添われることも多いです。教科書には書かれていない表現も多々教わり、逆に感謝なんですよ。

コロナ禍で

コロナ禍の現在ではマスクをしているので、口が隠れてしまいます。手の動き・腕の動き以外にも口の動き・顔の表情もとても大事なので、マスクでの対話は正直難しい部分もあります。

全体の動きでこちらのメッセージを読み取ってくれます。楽しいこと・悲しいこと・疑問に思うこと、それぞれの顔の表情を取り入れることが大事です。でも、これらは覚えようとしても難しいことで、それでもこの人と対話しよう・通じ合いたいという思いが先行すると、難しいと思われたことでも自然に身につくものです。そして日頃よりろうあ者の方と接することが一番大事と感じています。

Interview

新型コロナウイルス感染症の影響による休業や失業で 生活資金でお悩みの皆さまへ

一時的な資金の貸し付け（特例貸付）



■緊急小口資金

- ・貸付金額 10～20万円
- ・据置期間 1年以内
- ・返済期間 24ヵ月以内

■総合支援資金

- ・貸付金額 単身世帯・・・月15万以内
2人以上の世帯・月20万以内
- ・貸付期間 原則3ヵ月以内
- ・据置期間 最終貸付日から1年以内
- ・返済期間 10年以内

※いずれも

保証人不要・無金利

となっています。

お問い合わせ先

- ・特例貸付コールセンター
0120-32-1760
- ・厚真町社会福祉協議会
0145-26-7501

○北海道社会福祉協議会のHPからも内容の詳細が確認できます。

どこに相談したら

いいのかわからない・・・



お仕事や生活上の悩み・不安をお持ちの方々のための総合相談窓口です。

※相談内容の秘密は厳守しますので安心してご相談ください。

■お問い合わせ先

生活就労サポートセンターいぶり

相談者専用番号：0120-09-0783
Mail：ibur-i-soudan@roukyou.gr.jp

受付時間：月～金 8時30分～17時30分

住所 室蘭市中央町 3-5-13
SK室蘭中央ビル6F
電話 0143-83-7355
FAX 0143-83-7123

手話に

大切なのは
あなたの優しさ
寄り添う心

会員
募集

あつまの手話の会
「つらひのら」

お問い合わせ
土居 琴恵
090-1649-7682
毎週金曜日
PM7:00～
(福祉センター)

社協だより春号で、町内のボランティア団体

「あつまっふる」 がリングプルや不要タオルを集めているお知らせをしたところ、**すぐに反響がありました！**

代表の高橋さんへ直接お届けいただいたもの、また、社協へお預けいただいた分で後日お渡ししたものも合わせて、4月後半だけで6件もの物品が寄せられ、その後も寄付は少しずつ増えています。

日頃からリングプルを寄付のために集めておいてくださったり、きれいな状態のタオルを寄付してくださるなど町民の皆さまのあたたかい気持ちに、高橋さんも社協も喜びを隠せません。

タオル等の布は裁断したのち、福祉施設で使われ、リングプルは集めて売ったお金で車椅子を購入し、必要と思われる施設へ寄贈されます。これからも収集は継続していきますので、皆さん「あつまっふる」への寄付をどうぞよろしくお願い致します！



リングプルとごみの選り分け
をしているところです



お問い合わせ

「あつまっふる」

代表 高橋康夫

0145-27-2213

Thank
You

あたたかい善意に
感謝いたします



ご芳名はご本人から了解をいただいた方
のみ掲載しています。

福祉資金

酒井幸男様(軽舞)
田中良子様(本町)
村井正昭様(本郷)

合計 180,000円(3件)
(令和3年4月1日~5月31日)

物品預託

丹羽智子様(京町)
水野嘉美様(豊沢)
青木久美子様(豊丘)
匿名 5件



このほど、高齢者生活支援ハウス「ともいき荘」で生活されている新飯田うめ子さんが100歳を迎えられました。

大正10年生まれで誕生日の6月10日には宮坂町長が「ともいき荘」を訪問され、ご家族同席のもとお祝いの言葉と記念品が贈られました。

「ともいき荘」には平成13年のオープン当初から入居いただき今年で20年。現在は併設する小規模多機能ホーム「ほんごう」に週に2回通いながら、「いろいろな人に会えることが楽しみ。まだまだやりたいことがあるんです。」と、お元気に生活されています。

ともいき荘で初めての百寿、本当におめでとうございます。

(社会福祉協議会 ともいきの里 センター長 山野下)



(宮坂町長からお祝いを受ける
新飯田うめ子さん)

今
月
の
一
枚